

はじめてのスペイン語講座

第13回 比較の表現について①



Hola. みなさん、こんにちは!

今回のスペイン語講座からは、シリーズで比較について勉強しましょう。

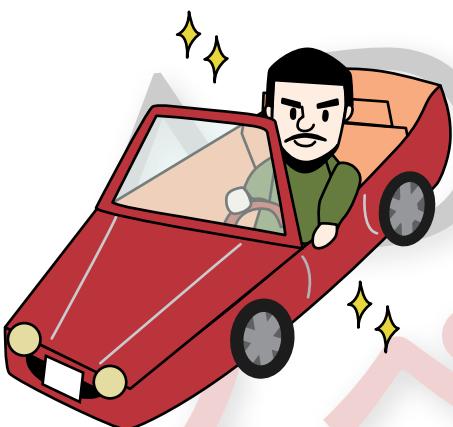
「比較の表現」にいくつかの種類があります。

まず大きく分けて、「比較級」と「最上級」があります。またその中にも「比較級」であれば「優等」「同等」「劣等」の3つ、「最上級」であれば、「優等」と「劣等」の2つに分ることができます。なんだかややこしそうですが、実際にルールを覚えれば、比較級は簡単に作ることができますので、安心してくださいね。

シリーズ①では、「比較級」にスポットを当てて学習していきましょう。

① 2つのものを比較して、『AはBより～だ。』というのが、皆さんも良くご存知の『比較級』の基本的概念ですね。まずは以下の公式を覚えましょう。

#1



El coche de José es más caro que el (coche) de María.

杏ちゃんの車はユリちゃんの車より高いです。



El coche de Mari es menos caro que el (coche) de José.

マリさんの車はホセさんの車より安いです。

APRENDE 覚えましょう！

比較級を覚える上で最も重要なのが、以下の表現です。シンプルなので、直ぐに覚えられますね。

＜優等比較＞

[más ~ que ~] 『—より～』

＜劣等比較＞

[menos ~ que ~] 『—より～でない』

例 【形容詞の場合】 Mi padre es *más alto que* yo.
Yo soy *menos alto que* mi padre.

私の父は私より背が高い。
私は私の父より背が高くない。

例 【副詞の場合】 Yo corro *más rápido que* mi madre.
Mi madre corre *menos rápido que* yo.

私は私の母より速く走る。
私の母は私より速く走らない。

例 【名詞の場合】 Mi hermano tiene *más libros que* yo.
Yo tengo *menos libros que* mi hermano.

私の兄は私より多くの本を持っている。
私は、私の兄より多くの本を持っていない。

□～の部分には形容詞、副詞、名詞のいずれかが入ります。
それぞれの違いは、以下の例文で確認してくださいね。

上では、形容詞・副詞・名詞の比較の例を一度に紹介しました。この3つがあるという事を念頭に置きながら、ここではそのうちのひとつである、形容詞を例に細かく見ていきましょう。

左上の絵を見てください。ホセさんが、とっても高そうなスポーツカーに乗っていますね。その一方、左下のマリさんは、環境に配慮した軽自動車です。この2台の車のうち、どちらの車の方が高価か、比較級を使って表してみましょう。

※形容詞を挟み込むように使う

例 El coche de José es **más caro que** el (coche) de Mari.
高価な、高い（形容詞）

ホセさんの車は、マリさんの車より高価です。

では、次に劣等比較も見ておきましょう。

劣等比較は、2つの物を比べて、少ない方を比較の中心として表す方法です。日本語には存在しない表現なので、慣れるまで少し戸惑うかもしれません、考え方は〈más ~ que〉の場合と変わりません。

ホセさんとマリさんの車の値段に関して、劣等比較を使うと以下の用に言い表す事ができます。

※形容詞を挟み込むように使う

例 El coche de Mari es **menos caro que** el (coche) de José.

高価な、高い(形容詞)

マリさんの車はホセさんのより少なく高いです。➡ マリさんの車は、ホセさんの車より高くありません。
(マリさんの車は、ホセさんの車より安い。)

〈menos〉は、『より少ない』や『より少なく』を表しますので、上の〈menos caro〉の部分をそのまま翻訳すると、「より少なく高い」となります。これを日本語らしくすると上の様に『～より高くない』と言い換えることができますね。

またいっそのこと、『高い』の反義語である『安い』を使った優等比較の文に言い換えてしまっても意味は通りますので、問題はありません。

② 次に2つあるものどちらかに優劣を付けるのではなく、同じくらいの度合いのものを2つ表すために使われる『同等比較』についても、勉強しましょう。この『同等比較』の場合は、『優等比較』や『劣等比較』と違って、形容詞と副詞の場合と名詞の場合で作り方が異なりますので、気をつけましょう。

APRENDE 覚えましょう！

<形容詞・副詞の場合>

[tan 形容詞/副詞 como —] 『—と同じくらい～(形容詞/副詞)』

<名詞の場合>

[tanto 名詞 como —] 『—と同じくらいの(量の)～(名詞)』

例 【形容詞の場合】 Mi hermana es **tan alta como** yo. 私の姉は私と同じくらい背が高い。

Mi hermano no es **tan alto como** yo. 私の弟は私ほど背が高くない。

例 【副詞の場合】 Mi ciudad es **tan grande como** Barcelona. 私の街はバルセロナと同じくらい大きい。

Mi ciudad no es **tan grande como** Nueva York. 私の街はニューヨークほど大きい。

例 【名詞の場合】 Mi tía toma **tanto café como** mi madre. 私のおばあちゃんは私の母と同じくらいコーヒーを飲む。

Yo no tomo **tanto café como** mi padre. 私は、私の父ほどたくさんコーヒーを飲まない。



まとめとして、右上の例を見て下さい。マリさんとマサオさんが机を並べて一生懸命働いています。2人ともとっても働き者ですね。そんな時は、以下の様に言うことができます。

例 **Mari es tan trabajadora como Masao.** 否定形にすると。。。 働きものである、勤勉な(形容詞)

マリさんはマサオさんと同じくらいよく働きます。

例 **Mari no es tan trabajadora como Masao.** 否定を表すNOは動詞の前に付けます。

マリさんはマサオさんほど働きものではありません。

③ 最後に、形容詞自体が変化するタイプの比較級について見ておきたいと思います。

これは①の『優等比較』『劣等比較』の場合だけでなく、これから出て来る最上級でも出てきますので、この機会にしっかり覚えておきましょう。

①で、形容詞・副詞・名詞の前に<más>や<menos>を付ければ比較になるということでしたが、これには例外があります。

[**bueno**(形)/**bien**(副)]、[**malo**(形)/**mal**(副)]、[**grande**]、[**pequeño**]の4つは、以下の様に変化します。

例

Ella cocina **más bien** que yo.

↓
Ella cocina **mejor** que yo.

彼女は私よりも料理が上手です。

Yo canto **más mal** que ella.

↓
Yo canto **peor** que ella.

私は彼女よりも歌が下手です。

B. <GRANDEとPEQUEÑO>

[**grande**]と[**pequeño**]の場合は、単に変化させるだけでなく、以下の様に意味によって使い分けが必要です。注意して下さい。

más grande	→	más grande サイズなどについて mayor 年齢について
más pequeño	→	más pequeño サイズなどについて menor 年齢について

例



Mi abuela es mayor que yo.

私の祖母は私よりも年をとっています。

※ **Mi abuela es más grande que yo.**

という表現は、文法的には正しいのですが、『私の祖母は私より(体が)大きい』という意味になってしまいます。



《TANTO》の使い方について

②の『同等比較』で、<TAN>/<TANTO>という言葉が出て来ましたね。上では、詳しく触れることができませんでしたので、ここでもう少し詳しく説明したいと思います。

まず、<TAN>は、形容詞・副詞とセット、<TANTO>は名詞とセットで使われます。特に気をつけて欲しいのは、名詞とセットで使われる場合の<TANTO>の変化です。

- **Ella tiene tantos zapatos como yo.** (彼女は私と同じくらいたくさん靴を持っている。)

↑ 男性名詞・複数形なので、tantosはtantasに変化

- **Mi casa no tiene tantas habitaciones como esta casa.**

↑ 女性名詞・複数形なので、tantasはtantosに変化

(私の家にはこの家ほど多くの部屋はありません。)

上記のように、<tanto>の後にくる名詞が男性・女性・单数・複数によって<Tanto>、<tanta>、<tantos>、<tantas>といずれかに変化させて使用することが必要です。

また、上には説明がありませんが、動詞とセットで<tanto>を使用することがあります。

- **Jorge come tanto como su padre.** (ホレハは彼の父親と同じくらいよく食べる。)

↑ (動詞) tanto como ~ で～と同じくらいたくさん・よく～する

- **Yo no estudio tanto como mi hermana.** (私は、姉ほどたくさん勉強しない。)

なお、動詞とセットで<tanto>を使う場合には、名詞の時のような変化は必要ありませんので、少し楽ですね。今回もたくさん覚えることがありますが、焦らずひとつづつ覚えていきましょう。



ADELANTE

www.adelante.jp

- 一般・旅行・商業・DELE検定対策・プライベートなど目的やペースに合わせて選べるコース
- ネイティブ講師だから学習気分で自然なスペイン語がマスターできる!
- 振替ができるので忙しくても安心!
- 月謝払いOK!
- 無料体験レッスン、教室見学等☆随时受付中

スペイン語教室 ADELANTE
〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-8 千代田ビル西別館2F
TEL: 06-6346-5554 • FAX: 06-6110-5122
E-mail: info@adelante.jp • http://www.adelante.jp